

H17・春

問題1 ヘアカラーリングの名称に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 永久染毛料は、ヘアマニキュアとよばれる。
- ② 一時染毛料は、テンポラリーヘアカラーとよばれる。
- ③ 脱色剤は、ヘアブリーチとよばれる。
- ④ 半永久染毛料は、セミパーマメントヘアカラーとよばれる。

H17・夏

問題2 ヘアカラーに関する次の記述のうち、ヘアマニキュアに該当するものはどれか。

- ① 染毛成分を頭毛の毛小皮に近い部分の皮質にまで浸透させ、染毛する。
- ② 着色成分を頭毛の表面のみに付着させて、一時的に染毛する。
- ③ 染毛成分を頭毛の内部組織にまで浸透させて作用させ、長期的に染毛効果を維持する。
- ④ 着色成分を頭毛の内部組織にまで浸透させて、メラニン色素を脱色する。

H18・春

問題3 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 眉毛、まつ毛に行う場合は、薬液が目に入らないように技術を行う。
- ② 染毛剤の調合は使用直前に行い、使用後、残った薬液は捨てる。
- ③ 染毛の1週間前後にパーマメントウェーブをかけないのは、毛髪をいためたり、色落ちすることがあるからである。
- ④ 酸化染毛剤を使用するときは、必ずパッチテスト（皮膚貼付試験）を行うこと。

H18・夏

問題4 ヘアカラーリング技術の注意に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸化染毛剤を使用する場合はかぶれないので、パッチテストは行わなくてよい。
- ② 染毛と同時にパーマメントウェーブをかけても、問題はない。
- ③ お客様の要望があれば、眉毛を染毛してもよい。
- ④ 染毛剤の調合は、ヘアカラーリングの作業直前に行うのがよい。

H19・春

問題5 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① パッチテスト（皮膚貼布試験）の途中でお客様が、かゆみ、刺激などの異常を訴えたら、ただちに洗い落とし酸化染毛剤は使用しない。
- ② 毛質の特徴として太く、硬く、撥水性がある黒い毛髪は、黄み系が出やすい。
- ③ パージンヘアの場合、頭皮の温度が高い根元より毛先の方が染まりにくい。
- ④ 放置時間がある程度経過した時点で、発色の状態を確認するためカラーチェックをする。

H19・夏

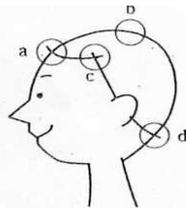
問題6 ヘアカラーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 一時染毛料・・・・・・・・・・一時的に毛髪の表面のみを着色する。
- ② 脱色剤・・・・・・・・・・毛髪のメラニン色素を脱色する。
- ③ 永久染毛剤・・・・・・・・・・染毛成分が毛小皮及び毛皮質の奥まで浸透する。
- ④ 酸化染毛剤・・・・・・・・・・パッチテスト（皮膚貼布試験）を必要としない。

H20・春

問題7 酸化染毛剤のカラーリングの際、下図のa～dのうち、染まりにくい部分の組み合わせは、次のうちどれか。

- ① a と b
- ② b と c
- ③ c と d
- ④ a と d



- a フロント、生え際
- b 頭頂部周辺
- c こめかみ
- d ネーブ近辺

H20・夏

問題8 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 白髪染めは、フロントのフェースラインから薬液を塗布する。
- ② おしゃれ染めは、明るくなりにくいネーブ部分から薬液を塗布する。
- ③ 毛髪には、染まりやすいところ、染まりにくいところがあるので塗布する順序や塗布量を調節する。
- ④ 酸化染毛剤によるヘアカラーの放置時間は約5～20分で、ヘアブリーチの放置時間は約20～40分である。

H21・春

問題9 半永久染毛料の特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛髪のメラニン色素は脱色されない。
- ② 毛髪の表面のみを一時的に着色する。
- ③ 染毛成分が毛小皮及び毛皮質の奥深くまで浸透し、長期にわたって染毛効果が持続する。
- ④ 黒色の毛髪を明るい色に染毛することもできる。

H21・夏

問題10 染毛剤のパッチテスト（皮膚貼付試験）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① テスト液は、使用する染毛剤の1液と2液を混ぜ合わせてつくる。
- ② 腕の内側にテスト液を10円硬貨大に薄く塗って自然乾燥させる。
- ③ テスト液塗布後そのまま触れずに72時間放置する。
- ④ 皮膚に異常があった場合には、すぐに洗い落とし染毛しない。

H22・春

問題11 ヘアブリーチに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
 「ヘアブリーチの作用は、アルカリ剤が（ A ）を分解して、水と酸素を発生させ、酸素が（ B ）を（ C ）して毛髪を明るくする。」

- | A | B | C |
|---------|--------|----|
| ① 過酸化水素 | シスチン結合 | 染色 |
| ② 酸化染料 | メラニン色素 | 染色 |
| ③ 酸化染料 | シスチン結合 | 脱色 |
| ④ 過酸化水素 | メラニン色素 | 脱色 |

H22・夏

問題12 半永久染毛料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a シャンプーしても全く色落ちしない。
 - b 黒色の毛髪を明るい色に染毛することもできる。
 - c 皮膚に染まりやすく、付くと取れにくいことがある。
 - d 酸性カラー、ヘアマニキュア、カラーリンスなどと呼ばれている。
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

H23・春

問題 1 3 アルカリ性タイプの酸化染毛剤の染毛技術に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 白髪染めは、白髪の多い部分から塗り始める。
- ② 毛髪の間中部から先に塗布し、希望色に近づいたら、ネーブから根元部分に塗布する。
- ③ パージンヘアの場合、毛先は染まりにくく、根元は染まりやすいので毛先から先に塗布する。
- ④ こめかみやフロントは、頭頂部に比べ染まりやすいので最後に塗布する。

H23・夏

問題 1 4 ヘアカラーの種類に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 永久染毛剤・・・カラスティック
- ② 半永久染毛料・・・ヘアマニキュア
- ③ 一時染毛料・・・ヘアブリーチ
- ④ 酸化染毛料・・・カラーリンス

H24・春

問題 1 5 ヘアブリーチに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

『ヘアブリーチの作用は、アルカリ剤が（ A ）を分解して、水と活性酸素を発生させ、活性酸素が（ B ）を（ C ）して毛髪を明るくする。』

A	B	C
---	---	---

- ① 過酸化水素・・・シスチン結合・・・染色
- ② 酸化染料・・・メラニン色素・・・染色
- ③ 過酸化水素・・・メラニン色素・・・脱色
- ④ 酸化染料・・・シスチン結合・・・脱色

H24・夏

問題 1 6 ヘアブリーチに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブリーチ剤の塗布量は時間で調節し、最初は少なく徐々に多くしていく。
- ② 毛先から根元部分まで均等に塗布する。
- ③ ブロッキングをなるべく大きくし、脱色しにくいフロントやトップから塗布する。
- ④ 一般に酸化染料を主成分とする第1剤（1液）とアルカリ剤を主成分とする第2剤（2液）を用いる。

H25・春

問題 1 7 次のうち、半永久染毛料はどれか。

- ① おしゃれ染め
- ② カラスティック
- ③ ヘアマニキュア
- ④ ヘアライトナー

H25・夏

問題 1 8 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛髪は染まりやすいところと染まりにくいところがあるので、塗布する順序を変えるが、塗布量は変える必要はない。
- ② パッチテストは、染毛する48時間前に肌の柔らかい部分に第1剤（1液）を塗布して異常がないことを確認する。
- ③ 皮膚のかぶれを起こすおそれがあれば眉毛、まつ毛にも染毛剤を塗布することができる。
- ④ 染毛剤によるかぶれを防ぐために、施術前には毎回、必ずパッチテストを行う。

H26・春

問題 1 9 ヘアブリーチに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脱色のムラをなくすために、毛先から根元まで均等に塗布する。
- ② 染まりにくいフロントラインから塗布する。
- ③ 酸化剤を主成分とする第1剤とアルカリ剤を主成分とする第2剤を用いる。
- ④ ブリーチ剤を塗布すると黒髪は時間の経過とともに、アンダートーンが変化した色になる。

H26・夏

問題20 ヘアカラーの毛髪のレベルとアンダートーンに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 人の毛髪のメラニン色素には、黄褐色と緑褐色の2種類がある。
- ② アンダートーンとは、毛髪がもつ下地の色みのことをいう。
- ③ 毛髪は、メラニン色素の含有量が多いと明るくなる。
- ④ 日本人の毛髪のナチュラルレベルは、7前後が多い。

H27・春

問題21 酸化染毛剤の技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 全体を暗く染める場合には、毛髪の明るいフロント部分から塗布する。
- ② 染まりにくい毛髪では、染毛剤の1剤と2剤の割合を変える。
- ③ もみ上げやフロントは、頭頂部に比べて染まりやすいので最後に塗布する。
- ④ パージンヘアの場合、毛先は染まりやすいので根元から先に塗布する。

H27・夏

問題22 ヘアカラーリングの毛髪チェックに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛質、新生部と既染部の割合、頭皮の状態等をチェックする。
- ② ドライヘアとウェットヘアで判断し、水分の吸収度をチェックする。
- ③ 毛髪の明るさのレベルチェックをする。
- ④ 白髪の量に応じてそのカバー色が変わるので、白髪の割合をチェックする。

H28・春

問題23 ヘアカラーリングにおける色の基本に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① プライマリーカラーを全て同じ分量で混ぜると、お互いの色を打ち消し、ニュートラルな茶色になる。
- ② カラーサークルの補色どうしを混合すると、色味を感じない明るいグレーになる。
- ③ 最も明度が高いのは白で、最も低いのは黒である。
- ④ 彩度の高い色とは、くすんだ色のことをいう。

H28・夏

問題24 ヘアカラーに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

「アルカリ性タイプの（ A ）は、（ B ）と（ C ）を同時に行うので、（ D ）を考えて、染毛剤を選定する。」

- | | A | B | C | D |
|---|--------|----|----|-----------|
| ① | 金属性染毛剤 | 脱色 | 染毛 | アンダートーン |
| ② | 酸化染毛剤 | 脱染 | 染毛 | プライマリーカラー |
| ③ | 金属性染毛剤 | 脱染 | 染色 | プライマリーカラー |
| ④ | 酸化染毛剤 | 脱色 | 染色 | アンダートーン |

H29・春

問題25 毛質と酸化染毛剤によるカラーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 硬く太い毛質は、色が明るく出やすい。
- ② 軟らかく細い毛質は、赤み系が出やすい。
- ③ 吸水性のある毛質は、希望色より明度の低い染毛剤を選択する。
- ④ はっ水製のある毛質は、吸水性のある毛質より染毛剤の塗布量を少なめにする。

H29・夏

問題26 酸化染毛剤に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a シャンプーしても色落ちが少ない。
- b 色持ちが約2～4週間である。
- c カブレや毛髪の傷みはない。
- d 1回の使用でしっかり染まる。

- ① aとb
- ② bとc
- ③ cとd
- ④ aとd

H30・春

問題27 酸化染毛剤の技術手順に関する次の記述の() 内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

「(A) → 毛髪診断 → 色の選定 → プロテクトとブロッキング → 染毛剤の調合 → (B) → カラーチェック → (C) → シャンプー」

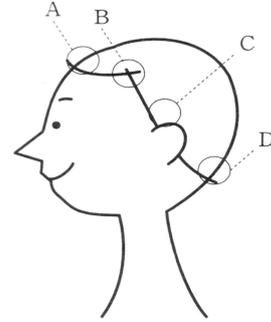
A B C

- ① パッチテスト —— 塗布と加温 —— 乾燥
- ② パッチテスト —— 塗布と放置 —— 乳化
- ③ シャンプー —— 塗布と加温 —— 乾燥
- ④ シャンプー —— 塗布と放置 —— 乳化

H30・後期

問題28 右図のA～Dのうち、酸化染毛剤による染毛の際に、染まりやすい部位はどれか。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D



H31・前期

問題29 ヘアカラーに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸性染毛料は、汗で色落ちしない。
- ② 酸性染毛料は、黒色の毛髪を明るい色にすることができる。
- ③ 酸化染毛剤には、植物の葉や花などの色素を原料としたものがある。
- ④ 酸化染毛剤は、永久染毛剤に分類される。

H31・後期

問題30 ヘアブリーチに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ブロッキングの方法はハイライトなど、デザインにより異なる。
- ② 脱色しにくいネープラインから塗布する。
- ③ 塗布は、ブリーチがすすむように時間をかけてゆっくりと行う。
- ④ 塗布量で時間差を調整するために最初は少なく、徐々に多く塗布する。

R2・前期

問題31 色に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛髪に損傷のある部分には、希望色より明度の高い染毛剤を多めに塗布する。
- ② 全体を暗く染める場合は、毛髪の明るいフロントの部分から塗布する。
- ③ 染まりやすいもみ上げやフロントは、最後に塗布する。
- ④ バージンヘアの毛先は染まりやすいので、根元から塗布する。

R2・後期

問題32 アルカリ性タイプの酸化染毛剤によるヘアカラーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 細毛や軟毛などは、黄み系が出やすいので、希望色より明度の低い染毛剤を用いるとよい。
- ② 白髪は染まりやすいので、白髪染めの場合、白髪の少ない部分から塗布する。
- ③ 放置時間の目安は、ヘアカラーの場合、約5～20分で、5分おきにテストする。
- ④ 放置時間がある程度経過した時点で、皮膚や発色の状態を確認するためパッチテストを行う。

R3・前期

問題33 ヘアカラーの種類と特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脱染剤は、毛髪のメラニン色素を脱色する。
- ② 酸化染毛剤は、黒色の毛髪を明るい色に染毛することもできる。
- ③ ヘアマニキュアは、永久染毛剤に分類される。
- ④ 一時染毛料の色もちは、2～4週間である。

R3・後期

問題34 染毛剤のパッチテストに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 染毛剤による抗体はすぐにできるので、テストは1回限りでよい。
- ② テスト液は、第1剤と第2剤を指定された割合で混ぜ合わせてつくる。
- ③ テスト液を綿棒にとり、腕の外側に米粒大に塗って自然乾燥させる。
- ④ テスト部位の観察は、塗布後すぐと24時間後の2回行う。

R4・前期

問題35 ヘアカラーの色選びに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「(A) どうしを混ぜるとお互いの色みを消し合うので、黄色く退色した毛髪の色を消してナチュラルな毛髪の色に仕上げたいときは、(B) の色素をもつヘアカラーで染め、赤みのある毛髪の色を消してナチュラルな毛髪の色に仕上げたいときは、(C) の色素をもつヘアカラーで染めるのがよい。」

- | | A | B | C |
|---|-----------|----|-------|
| ① | プライマリーカラー | 赤色 | 青色 |
| ② | 補色 | 緑系 | オレンジ系 |
| ③ | プライマリーカラー | 青色 | 黄色 |
| ④ | 補色 | 紫系 | 緑系 |

R4・後期

問題36 色の基本に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① プライマリーカラー（色の三原色）とは、赤、黄、青の3色である。
- ② 明度は色の明るさのことで、彩度は色の鮮やかさのことである。
- ③ 明度と彩度が組み合わさった調子を色のトーンという。
- ④ プライマリーカラーを2色ずつ混合したものをカラーサークル（色相環）という。